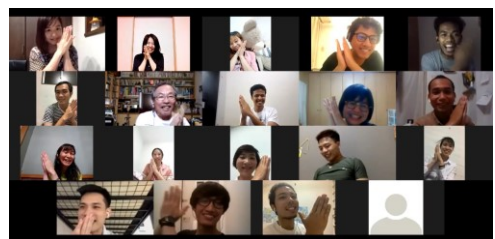


NO.2	団体名	国境なきレクリエーション	
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 各務原市に住む外国人児童と保護者へのゆるやかな教育支援事業		
事業概要	①外国人児童へ日本で生活する上で必要な日本語を教える。外国人保護者が困り事を気軽に相談できる場の提供。 ②外国人と日本人が遊び(レクリエーション)とお茶(ティータイム)を介して、やさしい日本語でコミュニケーションがとれる事を体験できる場の提供。		
事業費総額	75,980 円	助成金額	47,000 円
主な経費内容	ウェブ会議システム使用料、折り畳みデスク・チェア、ボードゲーム、会場使用料、レクリエーション材料、インクカートリッジ、コピー用紙、除菌シート、ハンドジェル		

●実施内容

■zoom を活用したオンラインおしゃべり会
4/1～毎週 1 回(現在は毎週火曜日開催、
3 月末時点で計 57 回実施。
延べ参加人数 763 人)



トークテーマにそったおしゃべり・日本語の学びになるゲーム等

■7/5 音楽とゲームのイベント
外国人が企画/運営/日本語で司会進行
(参加人数 25 人)



- ・日本語を使いソーシャルディスタンスを確保できるゲーム
マジカルバナナ/ワードウルフ
- ・外国人と日本人によるステージ(得意な音楽の発表)
- ・インドネシアのダンス(日本のラジオ体操のような国民的ダンス)



■11/28 公園で遊ぶ
大人も子供も一緒に遊べるレクリエーション
(参加人数 15 人)

- ・ソーシャルディスタンスを確保できるレクリエーション
- ・日本語が少ししかわからなくても
一緒に体を動かして楽しめるレクリエーション
新聞紙輪リレー/新聞紙傘玉入れ/ジェスチャー伝言ゲーム



●成果

新型コロナウイルス感染症の影響で、日本語を話す機会がなくなってしまった外国人に、日本語を使っておしゃべりを楽しむ場を提供することができた。毎週開催し続けたことで、外国人から、毎週会える場、なんでも話することができる場と思ってもらえた。ここで日本人と日本語で話すことに慣れ、自信をつけ、企画運営に携わるようになるなど、積極的に行動する姿を見ることができた。

●団体の活動目的・目標

各務原市に住む外国人と日本人の相互理解→相互支援→相互成長を目的・目標とする。